

小牧市駐車施設整備に関する基本計画及び小牧市駐車場整備計画 ＝概要版＝

○計画改定の経緯

駐車場整備計画については、平成7年に策定後、平成22年には公共交通を取り巻く環境の変化等を踏まえた目標年次を令和2年とする見直しを行い、さらに平成30年には、こまきこども未来館や小牧市中央図書館の整備等による小牧駅周辺地区における駐車需要への影響を見据え目標年次を令和3年とする計画の見直しを行いました。

小牧駅周辺地区においては、前回の計画改定後に「小牧市まちづくり推進計画（第2次基本計画）」の策定や「小牧市都市計画マスタープラン」の改定などの関連計画が更新され、小牧駅周辺の中心拠点ではまちのにぎわい創出にも寄与する広域的な都市機能の集積・充実を図るとともに、様々な世代の生活を支える身近な都市機能の立地を促進するものとしており、これら都市機能の集積・充実に伴う駐車需要への対応を図るとともに、こまきこども未来館、小牧市中央図書館のオープンに伴う駐車需要への影響等、様々な駐車需要に関する動向と変化に対応する必要があります。

また、小牧駅周辺整備事業に伴う新たなにぎわい空間などが創出されることで、駐車場需要が高まることが予測されることから、「小牧駅前広場等整備基本計画」の策定と併せて、将来駐車場需要の予測を行い、基本方針を定めた上で目標年次を概ね10年後とした計画の改定を行いました。

○駐車施設整備に関する基本方針

1) 基本方針

小牧駅周辺の各種施策と連携を図りつつ、駐車需要の質・量に応じた公共と民間の適切な役割分担、既存駐車場の有効利用、公共交通の利用促進等、総合的・効率的な駐車施策を検討することとします。

2) 目標年次・目標量

本計画の目標年次は駐車場整備計画を策定する令和7年度を基準年とし、10年後の令和17年度と設定します。

小牧市において最も高い駐車需要を示すと考えられる小牧駅周辺地区において、こまきこども未来館および小牧市中央図書館の需要やパークアンドライド駐車需要の見通しと、現在設置されている駐車施設を考慮した一時預かり駐車場整備目標量は現状維持となります。

図表1 一時預かり駐車場の整備目標量（調査対象地区）

目標年次	将来必要駐車場量			一時預かり 駐車場 収容台数	将来一時預かり 駐車場 整備目標量
	一時預かり 駐車需要	パークアンドライド 駐車需要	計		
令和17年度	726台	106台	834台	905台	73台の余力

○駐車施設の整備推進方策

駐車施設の整備については、以下の視点により推進していくこととします。

1) 駐車施設の附置義務制度による整備推進

附置義務駐車施設の整備を駐車場政策の基本としつつ、近年の法改正や荷さばき需要・車両大型化等の変化を踏まえ、地区単位での集約配置などを含めた駐車施設の適正配置を推進します。

2) 公共的駐車施設の整備推進

公共駐車場や民間の有効活用を基本とし、バリアフリー基準への対応や、まちなかの路外駐車場の適正配置と公共交通の利用環境の充実や自転車利用者・歩行者環境の整備が一体化したまちづくりと連携した駐車場施策を展開することで、歩行者を中心とした街路空間の構築、街並みの連続性確保、賑わいや都市の魅力の創出の実現を目指します。

3) 自動車の保管場所の整備推進

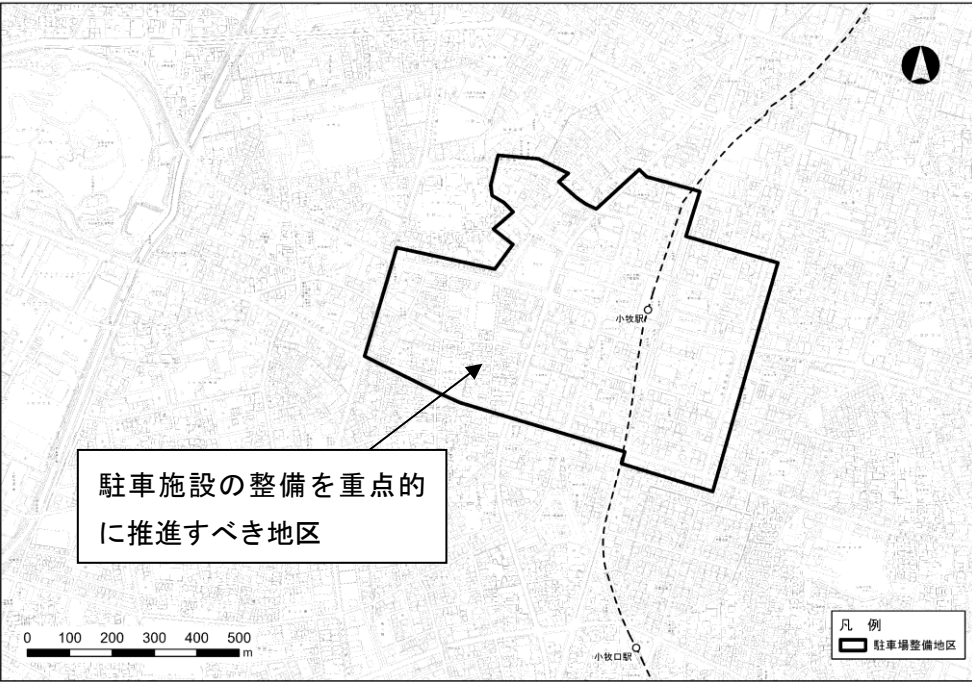
自動車の保管場所確保は駐車施設需給の均衡を図る上で基本的な条件となるため、関係機関と連携した啓発活動を推進します。

○駐車施設の有効活用利用方策

案内表示や満空情報提供等の充実に加え、駐車料金の共通割引制度の継続とデジタル技術の導入を図り、既存駐車場の利用率向上の促進を図ります。また、専用駐車場の時間外開放や、駐車場空間と商業・防災等のまちづくり機能を連携させた、多角的な有効利用を推進します。

○駐車施設の整備を重点的に推進すべき地区

小牧市中央図書館等の既存施設をはじめ、医療・文化・行政機能及び子育て支援機能を有する集客力が高く、幅広い利用者層が見込まれる施設の機能維持や立地誘導に伴う一定の駐車需要が存在する小牧駅周辺地区を、駐車施設の整備を重点的に推進すべき地区として今後とも駐車場整備地区として指定を継続し、公共と民間が適切な役割分担のもと、駐車施設の整備や既存駐車施設の有効利用を総合的・計画的に推進します。



○路外駐車場整備に関する基本方針

1）基本方針

現況・将来予測ともに駐車余力が見られるものの、ゾーン別に将来駐車需給バランスを見た場合、小牧駅地下駐車場や名鉄協商小牧パーキングビル、こまきこども未来館を内包するラピオ地下駐車場といった大規模な一時預かり駐車場が立地するゾーンや小牧駅から距離を有する浦田駐車場のゾーンで駐車余力が見られます。一方、その他のゾーンでは数台程度の不足台数が発生している状況にあり、駐車場整備地区全体では駐車余力が見られる結果となっています。

これらより、特定ゾーンへ集中する駐車需要により顕在化する不足台数が課題と考えられるため、中心市街地内（駐車場整備地区）に立地する既存駐車場の有効活用（適正利用）を図ることで、中心市街地内での安全な歩行空間の確保など、中心市街地のにぎわいや魅力創出に向けて、公共と民間の役割分担のもと、まちづくりと連携した駐車場施策を総合的・計画的に推進することを基本方針とします。

2）目標年次・目標量

本計画の目標年次は駐車場整備計画を策定する令和7年度を基準年とし、10年後の令和17年度と設定します。

駐車場整備地区における目標年次の駐車需給バランスは、令和17年に98台の駐車余力がみられます。したがって、一時預かり駐車場の整備目標量は現状維持とします。

図表 一時預かり駐車場の整備目標量（駐車場整備地区）

目標年次	将来一時預かり等駐車需要			将来一時預かり 駐車場収容台数	将来一時預かり 駐車場整備目標量
	一時預かり 駐車需要	パークアンド ライド 駐車需要	計		
令和17年度	701台	106台	807台	905台	98台の余力

○路外駐車場整備の目標量を達成するために必要な駐車場の整備に関する施策

1）駐車施設の整備・確保

平成5年3月に「小牧市建築物における駐車施設の附置に関する条例」を定めた以降、法改正に伴い標準駐車場条例が幾度か見直しされており、平成30年7月の法改正では、まちづくり上の観点を踏まえた隔地での附置義務駐車場の要件が緩和され、令和7年6月の法改正では、配送需要の増加や物流 2024 年問題等に対応した荷さばき駐車施設の確保や公共交通の利用促進やまちなかにおける歩行者の安全性の確保と駐車場の整備を図る施策の両立等が求められています。

小牧駅周辺地区においては、現段階では荷捌き駐車や自動二輪による駐車問題は顕在化していませんが、今後、大量・恒常的な荷捌き車両や自動二輪による駐車需要の増大が見込まれる計画等が具体化した段階で、道路の円滑な交通処理機能を維持するため、駐車需要を発生させる建築物に対して駐車施設の整備を指導するとともに、附置義務に関する基準の整備を図るものとします。

また、令和7年6月にトイレ、駐車場、劇場等の客席に関するバリアフリー基準が改正され、車椅子利用者用駐車施設の設置数について、駐車台数に対する割合で定めるよう見直しが行われたことから、小牧市においても特別特定建築物を整備する場合には、建築物の規模に合わせて安全・安心して利用できる駐車施設の整備・改良等を推進する必要があります。

＝問い合わせ先＝
小牧市 都市政策部 都市計画課
0568-76-1155

2）既存駐車施設の有効活用

小牧市中央図書館の利用者増加による駐車需要の変化が見込まれており、これら施設に附帯する駐車場では将来的な駐車需給バランスは不足台数が発生する結果となっています。これら不足する一時預かり駐車需要に対しては、駐車場案内情報の提供や駐車料金の引き制度・共通利用券の導入等により、利用率の低い一時預かり駐車場を含めて計画的に分散・誘導するなど、既存の路外駐車場の有効利用を推進します。

また、築30年以上経過している小牧駅地下駐車場及びラピオ地下駐車場の老朽化等に対応した改修の際には周辺の既存駐車場の空き容量を活用することで駐車需要に対応します。

3）路外駐車場整備の方針

将来駐車需給バランスをゾーン別にみると、浦田駐車場が立地するゾーン10、こまきこども未来館及びラピオ駐車場が立地するゾーン16、小牧駅地下駐車場や名鉄協商小牧パーキングビルが立地するゾーン18といった大規模な一時預かり駐車場が立地する特定ゾーンで目標年次において駐車利用に余力がみられる一方、小牧市中央図書館が立地するゾーン17では駐車容量の不足が発生しています。

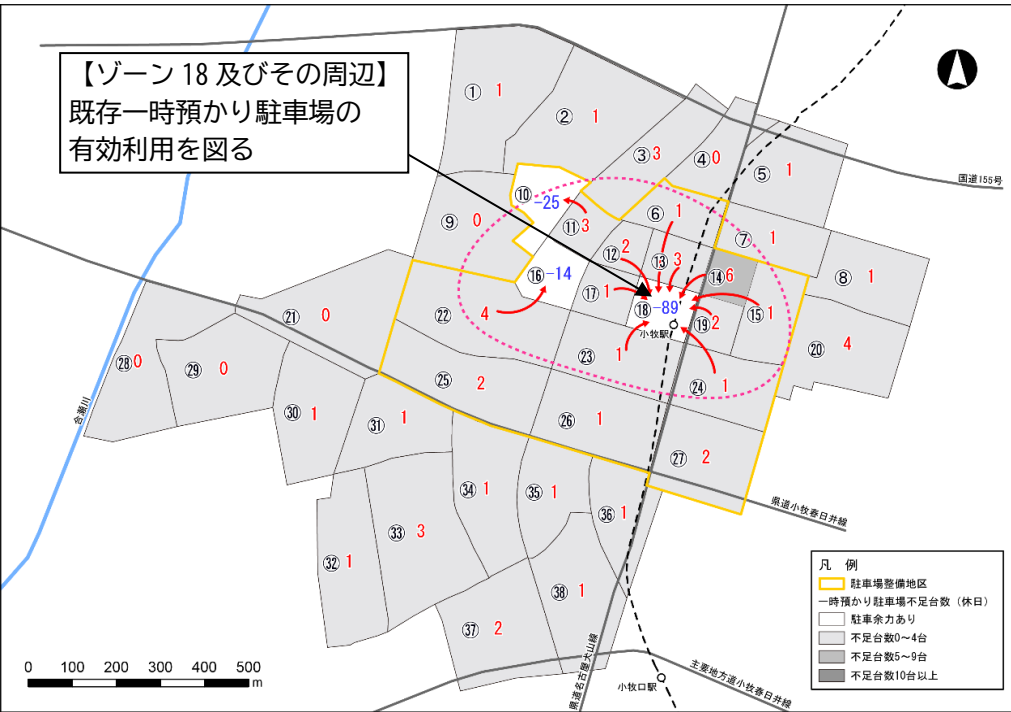
また、上記以外の各ゾーンの不足台数は概ね6台以下と相対的に少ない結果となっています。

これらより、将来発生が想定される駐車需要に対しては、中心市街地のにぎわいや魅力創出に向けて、公共と民間の役割分担のもと、既存駐車場の有効活用（適正利用）を図ることで、駐車場整備地区全体で駐車需給バランスを確保します。

○主要な路外駐車場整備に関する事業の計画の概要

将来駐車需給バランスでは、駐車場利用に不足が見られる特定ゾーン周辺の駐車容量に余力がみられるゾーンを含め、駐車場整備地区内の既存駐車場を一体的に有効活用することで将来駐車需給バランスを確保するため、新たな届出駐車場等の整備に関する事業計画は定めないものとします。

今後、駐車需要に影響を与える様々な動向の変化を注視し、附置義務条例を適切に運用しつつ、必要に応じて駐車場整備計画における整備目標量等の見直しを行うものとします。



※赤字は不足台数、青字は余力台数を示す